それ

遠きをはかる者は

百年の為に松杉の苗を植う

近きをはかる者は

貧

遠きをはかる者は富み

もできず。

人間が歩むべ

き道である。 身の貧富

めだけではなく、ということを教ということを教ますが、ここから

心に刻みた

人道の基本であり

れて

「近きをはかる者」

ずる心で

共に生きる

子ども

報徳訓

ず

合う

人になります

子ども

報徳訓

よく考え

きまり

を守

る

な

(N

ŧ

とですが

感謝と真心をこめて、

地道に努力

(至誠

勤労)

徳

9

道

は

至誠

2

生まれた余力を、 適正な度合を設けて、

未来の自分と他者のために

計画的な暮らし



冬道での交通事故防止

ストップ・ザ・交通事故

例年、冬期間は交通事故が増加します。交通事故を防 止するためにも次の点に注意するようお願いします。

- ○冬道は、天候状況や積雪による渋滞が発生するな ど到着までに時間がかかるので、時間に余裕を もって出発しましょう。
- ○冬道では、スリップによる正面衝突の事故が増加 します。スピードダウンと路面状況に応じた慎重 な運転を心がけましょう。
- ○急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキといっ た「急」のつく運転操作はスリップにつながり大 変危険ですからやめましょう。
- ○雪山で、見通しが悪い交差点などでは危険を予測 して、徐行と安全確認を徹底しましょう。

平成30年度地域安全・少年非行防止標語コンクール 『地域安全部門』(小学生の部)

金賞「振り込んで」その言葉には わながある 山本丈太郎さん (豊頃小6年) 銀賞 言ってみて やさしい笑顔で「ありがとう」 佐藤海陸さん (豊頃小5年) 銅賞 オレだよオレ そのことばには だまされない 織本彩夕華さん (浦幌小5年)

落氷雪による事故防止

例年2月は寒暖の差が大きくなり、氷のように なった屋根の雪が落ちて下敷きになったり、屋根の 雪下ろし作業中の転落等の事故が発生しています。 事故を防止するために、次の点に注意してください。



- ◇子どもたちを落氷雪の 危険がある場所で遊ばせ
- ◇危険な軒下を歩かない
- ◇屋根の雪やつららを早 めにおろす

釣りの事故に注意

過去に町内の十勝川や長節湖などの氷上でワカサ ギ釣りをしていた釣り人が、氷が割れて水中に転落す る事故が発生しています。氷上で魚釣りをするときに 事故に遭わないように注意してください。

また、寒さが強まるこの時期はテントを使用した釣 りが本格化します。換気不足によるテント内での中毒 事故が発生する恐れがあります。

閉め切ったテント内で七輪に練炭などを使用して暖 をとる場合は、一酸化炭素中毒にならないように換気 に十分注意してください。

農業者年金のお知らせ

農業者年金に加入しませんか

農業者年金に加入した方から、「制度を知っていたらもっと早く加入したのに」との声があります。 農業者にとって大変有利な制度です。よく理解をして早期加入により豊かな老後生活を過ごしましょう。 国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する20歳以上60歳未満の方は誰でも加入すること ができます。

制度の特性の主なものは次のとおりです。

- ①農業経営者、経営者の配偶者、後継者、後継者の配偶者など幅広い加入が可能です。
- ②保険料は積立方式・確定拠出型のため安心な年金制度となっています。
- ③支払った保険料は、全額が所得税や住民税の社会保険料控除の対象となります。
- ④保険料は月額2万円から6万7千円までの範囲で自由に選択でき、いつでも見直すことができます。
- ⑤担い手には、保険料の一部について国庫補助があります。
- ⑥終身年金のため老後の年金生活が保証されています。
- ※農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金(月額400円)への加入が必要になります。

農業者年金保険料を見直しましょう

保険料は上限の6万7千円までの範囲内であれば、千円単位で変更は可能です。 また、翌年分を一括して支払う前納の仕組みもあります。

納めている保険料の金額を確認し、見直しをご検討される方は早めに農協の窓口で手続きを済ませましょう。

農業者年金についての相談

年金加入、内容確認、年金受給など、いつでもお気軽にご相談ください。

問合せ先

農業委員会事務局 ☎ (574) 2218

だから貧しく 推譲 分度 だから豊かになるの 日 ば 我々はな 照不足や豪雨 くなるのだ。…)、何も植えよう 春植えて秋に実るなど遅すぎる。 恵みと民の勤功 々な苦労を乗 、米を収穫できることは当然のこ、米を収穫できることは当然のことにの動功があって初めて可能になる苦労を乗り越えて初めて可能になる苦労を乗り越えて初めて可能になる。 為に松杉の苗を植う それぞれの としな 米の花 ゆえに富有 しかし 秋実る物を考えて春に種を いる人は、百年のたいなず。刈り取る事のななしとして植えず。唯れている事のないには、 で刈 すぎる。目の前の利近くのことばかり なり。 り取るば 良さ でのために松 いたのか目に でのかりに でのかりに でのために松 自 己を見つめ 成すのが、 中に至る我 『遠きをは 「遠きをはかる者」 ると経済的な戒めとして述べら ればそれでよ

我々が歩むべき道であり、自分の子孫のために、ずつ

のではなく、

ればなりませ

は、植林によって埋め戻さた在の資源を後の世代に残し、在の資源を後の世代に残し、題使ったのでは、自然を破壊 使って家や家具を作りの精神が不可欠です。といえまが、と人間が調和し、人 、植林によって埋め戻さなけの資源を後の世代に残し、さら 自然を破壊し、 松や杉、 の努力 さらに現在 する姿が ある 本来の人間の姿なのでと先を見通して事をはなく、見知らぬ他人により現ではなく、見知らぬ他人になりません。「自分されなく、見知らぬ他人の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらの資源の子孫がこれらいる。 はそ る我 \mathcal{O} 大い放



日光の杉並木

大津小学校「報徳のおしえ」に関わる道徳の公開研究授業を開催

公開授業では「さるへいと立て札」を題材に正直な心 で自分のこととして、自分の心と向き合う学習が行われま した。大津小の道徳の重点目標には「うそをついたり、 でまかしたりしないで、明るい生活をする」とあります。 これは子ども報徳訓の『真心をもち、明るい人になりま す。』に当たるものです。また大津小では「報徳のおしえ との関連を図り、人間としてのあり方、生き方を考え、自 己を見つめる指導方法の工夫」に取り組んでいます。

当日は担任の先生と心を通わせながら「うそより正直が よいのはなぜだろう?」と子どもたちは自分の心を振返りな がら深い学びを展開しました。授業後、研究協議が持たれ、 最後に「報徳のおしえ」の研修として山本教育長の講話を 聴いて研修会を終えました。



平成 30 年度豊頃町教育振興会小中連 携部事業 による公開研究授業の様子 (大津小学校1・2年生)

H30年11月19日実施

広報とよころ (10) Feb - 2019

広報とよころ